

令和6年度体育祭 開催

兵庫県立須磨友が丘高等学校
総合学科推進部

9月26日(木)、晴天の中で体育祭を開催しました。多くの保護者の皆様にもご来校いただき、感謝いたします。各学年種目や部活動対抗リレー、全学年対抗の大縄跳びなど、感動的な瞬間がたくさんありました。応援する生徒たちの気合の入った声援のもと、各学年・クラスとも盛り上がり、白熱した体育祭となりました。

1年次 産業社会と人間 職場訪問全体発表会

9月27日(金)に、職業研究の全体発表会があり、職場ごとの発表で選ばれた代表者22名が、1年次生全員の前でプレゼンテーションを行いました。班別の発表から1週間しかありませんでしたが、さすが代表者だけあり、内容がさらにブラッシュアップされていてどの生徒の発表も見応えのあるものでした。発表者は大変緊張していましたが、その緊張感が利き手にも伝わり、聞いている生徒も刺激をたくさんもらえたようです。発表の機会はまだまだたくさんあるので、今回の経験が今後の活動に活かされることを期待しています。

【生徒の感想】

- ・人に「伝える」ために工夫されたプレゼンには、各々の色が見られて、「働く」ということの意味について改めて考えさせられた。今回の職場訪問を通して、今一度将来について考え、「働く」ということに実感を持つと考えた。
- ・今回22人の発表を聞いて、「コミュニケーション能力」や「協力」といった言葉が共通して聞けたので、仕事は違っても、その仕事で大事になるものは似たようなものなのだと気づきました。
- ・どの職業にも、共通するところはあり、今の高校生活で学んだことが、将来になって役立つことも学べた。今はまだ将来どんな仕事に就きたいか決まっていなかったが、今夏の職場訪問で学んだことを活かして仕事選びをしていきたい。



2年次 課題研究 全体中間発表会

9月30日(月)7限目、LHRの時間に2年次課題研究の全体中間発表会をおこないました。今年は6つの系列ごとに代表者3~4名の発表を行いました。8名の大学の先生方(神戸女子大学、関西学院大学、神戸芸術工科大学、神戸常盤大学)にお越し頂き、専門的な見地からアドバイスと全体の講評を頂きました。5分間で各系列の代表生徒が研究の途中経過を発表し、約5分間の質疑応答をおこないました。

代表生徒は緊張しながらも、各系列の代表として堂々と発表しました。質疑応答では大学の先生方からの的確な質問に返答し、丁寧なアドバイスに耳を傾けて研究を進展させようとする意気込みが感じられました。



代表生徒以外の生徒も自分自身の研究に照らし合わせて「自分ごととして」聴くことができていました。

今回の中間発表会を通じて、自分たちでは気付けない沢山の視点を頂きました。2年次の生徒全員があらためて自分自身の研究を振り返り、研究の軌道修正をするまたとない機会となりました。



【生徒の感想】

- ・発表者のアニメーションや図が分かりやすかった。ユニバーサルデザインを取り入れたことが良かった。
- ・発表者の研究動機が身近な疑問から研究テーマに設定されていて良かった。「確かに気になる！」っていうところをついていて面白かった。
- ・どの発表者も「きっかけ」がしっかりしていて本当に自分の調べたいことをしていて説得力も感じました。
- ・先行研究や研究内容に関する情報などアプローチが足りていない部分に気づけた。
- ・実験方法の具体化、研究の範囲を狭くすることが大切だとわかった。
- ・データの客観性や正確性が重要視されることがわかった。また、実験における条件の統一性や実験を「何回するか」が大切になってくるのがわかった。
- ・もっとアンケート内容を詳しく考え、身近な人でいいから調査すべきだと感じた。
- ・定義づけをしっかりとすると、はっきりとした結果が出るということも大学の先生のアドバイスで分かった。
- ・大学の教授の方々のアドバイ스가とても参考になった。私たちよりはるかに色々な視点を持っていて、多くの研究への配慮が必要だとわかった。また、研究において客観性がとても大切であることが分かった。
- ・国や自治体のホームページの信頼性が高い、アンケートは個人情報もあるから配慮する、人がすでにやっている調査や論文を有効活用しどんどん使っていく、比較対象にする、使えるものは使う。
- ・「比較する」ということをこれからの研究に取り入れて行きたいと思った。
- ・丁寧な調べ学習→問題提起→目的・仮説設定(初めは個人の問題意識からでもOK)を行い、論文を多く読むことが大切だと分かった。

3年次 総合的な探究の時間 課題研究全体発表

3年生全員が、2年次から取り組んできた課題研究をプレゼンスライドにまとめゼミ内発表をしました。今年度は2、3年継続ではなく系列を混ぜた新たなメンバーに組み替えたので、お互いの研究を興味深く聴けたようです。下記の18名がゼミの代表として「全体発表会」に出場しました。発表会では、教員だけでなく生徒たちも評価をしながら真剣に研究の内容や発表の表現などを観ました。全体発表会の結果、年次代表に選出された生徒は学校説明会(11月)や総合学科発表会(1月)で成果発表を行います。

No.	名前	タイトル	系列	3年ゼミ	2年ゼミ
3434	水谷 未亜	なまけものが上手に生きる方法	国際社会	櫻木	清水
3116	世良田実愛	ヘルプマークを広めるために～絵本を通して伝える～	生活保育	橋爪	中村真
3224	中村 優希	元気に過ごすための食事方法～これからの人生を健康に楽しく生活するために～	医療保健	山崎大	小滝
3506	小島 隆樹	神戸市西区いいとこ発見	国際社会	納富	山田
3122	能島 侑里	過疎地域における医療問題と提案～祖父母を救いたい～	医療保健	山崎大	中村和
3626	田中 遥奈	献血者数を増やすためには	医療保健	原田	樋渡
3616	久保田智也	eスポーツは「スポーツ」である	情報科学	南野	徳山
3526	前田 雛璃	技能実習生に十分な支援が行き届いていない理由と解決策 ～日本語学習の視点から～	国際社会	山村	山田
3207	加瀬日向花	神戸市の治安についての研究 ～長田区はなぜ治安が悪いと言われるのか?～	国際社会	秋定	山崎大・末延
3421	中岡 明都	電車での人身事故を減らすためには?	国際社会	竹	垣脇
3204	大住 花音	JKに漬物を食べてほしい!～べったら漬の魅力を知ってもらうには～	生活保育	秋定	中村真
3132	宮地 結菜	保護犬を飼いたいと思う人が増えるように	医療保健	山田	中村和・小滝
3437	村上 晴香	ミッション!!みんながおいしく楽しく!!	生活保育	中村真	小林・原田
3509	神崎 莉緒	緊張がパフォーマンスに及ぼす影響とルーティンの効果	スポーツ健康	南野	秋定
3303	芥川 陽音	医療的ケア児と地域の関わり	生活保育	垣脇	中村真
3235	八尾 秀翔	専用アプリ「TOMOFES」で文化祭をもっと便利に、もっと楽しく!!	情報科学	小林	南野
3312	栢野 舞祐	「マスク」の罪と功について考える	生活保育	小滝	中村真
3403	磯部 一樹	TM-1 GRAND PRIX～40回生にうけるネタとは～	国際社会	垣脇	山田



現在は、新しい企画「実学探究」に取り組んでいます。自らの思考や友達の意見に思いを巡らせながら実践的に学び合う形式です。この学びを通して「自らのあり方・生き方に関わる価値観」を育みたいと考えています。

回	月	日	タイトル	展開	場所	テーマ
1	9	9	実学探究①-1	ゼミ別	指定教室	一般教養・常識
2	9	24	実学探究①-2	ゼミ別	指定教室	マナー・常識
3	9	30	実学探究①-3	★全体	セミナー	マナー講演会
4	10	7	実学探究②-1	ゼミ別	指定教室	消費者、労働者の視点①
10/17~23			2学期中間考査			
5	10	28	実学探究②-2	ゼミ別	指定教室	消費者、労働者の視点②
6	11	9	実学探究③-1	ゼミ別	指定教室	民事事件・刑事事件 ★★公開授業
7	11	18	実学探究③-2	★全体	セミナー	発表と講評
8	11	25	実学探究④-1	★全体	セミナー	権利と義務と法律
9	12	2	実学探究④-2	ゼミ別	指定教室	これからの時代を生きる 掲示物準備
			【生徒】実学探究レポート提出▶ゼミ担当者	【担当者】総合学科発表会掲示物に仕上げ推進に提出		
12/4~10			2学期期末考査			
10	12	特	3年間の学び振り返り	クラス別	HR教室	「3年間の学び」振り返り
冬季休業						

【生徒の感想】

- ・課題研究を通して多面的に物事を見ることができるようになった。
- ・課題研究を通して、1つの事柄について詳しく調べたり考えたりする能力が日常生活でも活かされるようになり、授業でも少し疑問に思うことがあると家に帰ってその事を詳しく調べたり考えるようになった。
- ・課題研究を通して、発表で人に伝えることにあまり緊張しなくなり、以前より前向きに考えられるようになった。
- ・課題研究を通して、普段の生活を注意深く過ごすようになった。それは自分の研究だけでなく他者の研究していたことも気にするようになったから。



マナー講習(講師:友井川泰子氏)